令和６年度

第２回 豊浦町地域公共交通活性化協議会 議事録

令和６年度　　第２回 豊浦町地域公共交通活性化協議会

１．開催日時　　令和６年 11 月 25 日（水）午後３時 00 分開会

２．開催場所　　豊浦町役場３階　第１会議室

３．出席者　　（うち委員 18 人）　　（敬称略）

所属・職名	氏　名
豊浦町 副町長	沼舘　靖展
北海道運輸局 室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官	門間　俊也
胆振総合振興局 地域創生部 地域政策課長	西﨑　拓也
北海道開発局 室蘭開発建設部 有珠道路事務所長	田中　学
道南バス株式会社 営業部長兼輸送安全部長	髙本　克彦 （代理出席）
有限会社豊浦ハイヤー 取締役	長嶋　哲廣
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会 課長代理	工藤　幹彦
札幌方面伊達警察署 交通課長	上田　平
国立大学法人 室蘭工業大学大学院工学研究科 教授	有村　幹治
豊浦町自治会連合会 推薦者	上白土　長幸
豊浦町社会福祉協議会長	栗山　明男
公募委員 大岸自治会長	春日谷　賢一
豊浦町 建設課長	佐藤　一貴
豊浦町 町民課長	久保　隆史
豊浦町総合保健福祉施設 事務長	武石　修
一般社団法人 噴火湾とようら観光協会 事務局長	岡本　貴光
学校法人 北海道シュタイナー学園いずみの高等専修学校長	市川　貴弘
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所 地域研究部地域システムグループ主査	石井　旭 （代理出席）
特定非営利活動法人 まちづくり支援センター 代表（アドバイザー）	為国　孝敏
日本データサービス株式会社 計画調査部 主任技師（調査業務委託事業者）	中野　滉

４.欠席者　　（委員５人）　　（敬称略）

団　体　名	委　員　名
胆振総合振興局 室蘭建設管理部 洞爺出張所長	三浦　学
北海道旅客鉄道株式会社 洞爺駅長	中尾　健二
道南バス株式会社　営業管理部長	伊藤　晴美
豊浦町商工会長	金丸　淳
豊浦町 生涯学習課長	大嶋　果林

５．事務局　　（豊浦町 政策財政課）

事　務　局	長	本所　淳
局	員	武田　貴博
局	員	玄間　芳也

６．議事日程

【報告事項】

（１）バス路線「豊浦線」の再編について

（２）町民アンケートの結果報告について

（３）町営バス、コミュニティバス乗降調査の結果報告について

（４）住民意見交換会の結果報告について

【協議事項】

（５）豊浦町地域公共交通計画の方向性（案）について

【その他】

７．会議の概要

○事務局	それでは、令和６年度第２回豊浦町地域公共交通活性化協議会を始めます。 会議を始める前に、お手元の資料を確認させていただきます。 会議次第に配付資料の一覧が記載されていると思いますが、お手元に会議次第と席次表のほか、資料１から５まではございますでしょうか。 もし不足がございましたら、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。 豊浦町地域公共交通活性化協議会は、22 名の委員に就任いただいておりまして、そのうち、本日の出席者として、ウェブでのご参加も含め、18 名にお集まりいただきました。 委員総数の過半数を満たしておりますので、本日の会議は有効に成立することが確認できましたため、会議の開会を宣言いたします。 今回所要により、胆振総合振興局室蘭建設管理部洞爺出張所の三浦委員、北海道旅客鉄道株式会社洞爺駅の中尾委員、豊浦町商工会会長の金丸委員、豊浦町生涯学習課長の大嶋委員から、欠席のご連絡をいただいております。 道南バス株式会社様につきましては、伊藤委員の欠席に伴い、営業部長兼輸送安全部長の髙本克彦様が代理として、北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所様につきましては、岡村委員の欠席に伴い、地域研究部地域システムグループの石井主査にウェブにてご出席いただいております。 また、豊浦町役場での職員の異動がございまして、建設課長の武石委員が、総合保健福祉施設に異動となりまして事務長として出席しており、新たに建設課長となりました佐藤課長が、委員として出席を頂いております。 改めて確認でございますが、議事に入る前に申し上げます。 協議の中身は、豊浦町地域公共交通活性化協議会規約によりまして、原則公開となり、議事録につきましても町のホームページで公開することになります。 ただし、協議会の決定により非公開の決定をしたときは、非公開とすることができますので、議事の内容により議事録の非公開が適当であるというご意見がございましたら、その都度ご提案をお願いいたします。 それでは、議事の進行に入ります。 沼舘会長よろしくお願いいたします。
○会長	皆様お疲れさまでございます。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

	それでは早速でございますけれども、議事を進行させていただきたいと思います。 議題１より事務局から説明をお願いいたします。
○事務局	（資料１、２　説明）
○会長	それでは、報告事項の１と２、「バス路線豊浦線の再編について」と「町民アンケートの結果報告について」事務局から説明がございましたけれども、事務局からの説明につきまして何かご意見等はございますでしょうか。 （意見等なし） それでは、報告事項１、２については終了させていただき、報告事項３、こちらについて事務局の方から説明いたします。
○事務局	（資料３　説明）
○会長	報告事項３「町営バス、コミュニティバス乗降調査の結果報告について」事務局からご説明ございましたけれども、何かご意見等はございますでしょうか。 （意見等なし） それでは、続きまして報告事項の４について、事務局説明をお願いいたします。
○事務局	（資料４　説明）
○会長	報告事項４「住民意見交換会の結果報告について」事務局から説明がございましたけれども、この説明につきまして何かご意見等はございますでしょうか。 （意見等なし）
○委員	また意見交換できる機会はありますか。
○会長	はい、最後に総括で時間を設けたいと思います。 それでは協議事項５「豊浦町地域公共交通計画の方向性（案）について」ご説明をお願いいたします。
○事務局	（資料５　説明）

○会長

只今、協議事項の公共交通計画の方向性（案）について、事務局から説明ございましたが、皆様から補足やご意見等ございましたら、お願いいたします。

○委員

アンケートで、礼文と大岸の方々が洞爺や伊達の方の病院へ行ったりしますが、そのつながりが悪いと。
そういうことを考えた場合、うちがコミュバスをしているので、うちのほうから言うのはちょっと具合が悪いかもしれないんですが、例えば、選択と集中を考えた場合、選択というのが、伊達に行く、買物に行く、風呂に行く、病院に行く。集中というのは、その選択に基づいて集中的に送迎する。
例えば、今のコミュバス礼文・大岸・豊浦線をもうちょっと早く出して、特急のような感じで真っすぐ伊達まで行ってしまうと。
それは特急ですので、乗られなかったら困るので、前日には予約していただきたいと。
その代わり、病気の人もいるので、もうドアツードアに近い、ドアまで入っていく、家の近くまで迎えに行ってあげますよと。
それで時間を決めて、例えば停車するところは、大岸の誰々さんを乗せて、その後は豊浦のお風呂のところ、もしくは病院、２、３か所止まってそのまま洞爺駅。洞爺駅で９時ぐらいになるんでしたら、９時 30 何分の特急もあり、それにも乗って札幌行ける。
次に例えば、伊達の日赤、もしくは違う病院に最終的に乗せ、帰りにその病院に行った方が買物して帰れるように、帰りは 12 時ぐらいにスーパーマーケットを始点として、豊浦のほうに戻ってくるというような。
それと、朝の行った便というのは帰りがありませんので、帰りもついでだから宣伝して伊達、虻田の人を“しおさい”まで無料でお送りしますよと。お年寄りを無料でお送りする。
温泉だけではインパクトがないので、“しおさい”に言って朝市までしてもらうと。
例えば、新鮮な今日獲れた魚をその場で、あまり売れないような魚かもしれないけど、朝市みたいなコーナーをつくってもらって、買物も出来て、それで、次に迎えに行く便もまた、豊浦町民は空ですから、お風呂に入って朝市で買物してから、また無料で伊達の住民を返す、また帰りに豊浦に住民を送ってくると。
その間の時間帯、例えば１時間半ぐらいを集中的に、豊浦と礼文・大岸間を回っていくと。細々としたところをですね。鈍行列車みたいな形でいろんなところも回って、病院とかそういうところを回っていく。そういうようなものを今３台動いてますから、うまく組合せたらできると思うんですよね。
道南バスさんも今まで、僕らもそういう案があったんですけど、今、ＪＲとか道南バスさんがやってたので、我々から言ったら何か商売

敵になっちゃうんですけど、実際に今やめたいと言ってます。
それだったら、できることはうちのほうでできるんだったら、それは出来ますよ、とここで言いたいところですね。全てができるんですよ。
まず、ドアツードアに近い方法もできるんですけど、あとは時間的なものと予算とかそういうのもございますと思いますし、今、時間を午後にもう１便足せれば、かなり不便さが無いような形にはできると思うんですよね。
それで伊達までも行ける、買物もできる、病気の人も病院へ行ける、いろんなものに使うという形がとれると思うんですが。

〇会長　貴重なご意見をありがとうございます。
せっかくのコミュニティバスということなので、臨機応変に有効活用したらどうかというようなお話でしたけど、事務局から何かございますか。

〇事務局　ご提案はいわゆるデマンド運行に近い形というような捉えなのかなと思うので、それも、検討の一つとして考えております。
目的地としましても、例えば、生活の目的地が主に伊達市が多いというところはお話させていただいたところではありますので、途中でバス停を設けて乗り降りするよりかは、真っすぐ伊達市まで移動してしまって、ニーズを満たすというところであれば、移動の時間も大分短くなりますし、乗車される方の負担も減るというところもありますので、公共交通という形でそれを実現するにはどういった要件が必要かというところは、我々もまだその検討が不十分でございますので、勉強させていただきたいと思います。

〇会長　それでは、その他補足やご意見等ございましたらお願いいたします。

（意見等なし）

ウェブの方々で何かございますか。

〇委員　いろいろ資料作成いただきましてありがとうございました。
現状ですね、施策としては、かなり自由度が高い幅で最後示されていたかと思います。
1 番最初の報告事項 1 で、豊浦から拠点を洞爺湖町の駅のほうに移すという話がありまして、特急が止まるからということも一つ理由かと思いますが、この場合の全体の交通ネットワーク、各階層ごとのネットワークの全体像がまだ見えてないのかなと思って聞いておりました。
つまり、特急が 1 番上にあって、そこから地域間幹線で豊浦の効率

を上げてですね、豊浦から部分的にはオンデマンドのバスが入っていると。
それが礼文とかの方面に走りながら、薄い交通需要をちゃんと拾っていくような、そういう全体のネットワーク図と、それぞれの事業者は別々ですから、役割分担でどこがどこなのかというところを、やはり 1 枚の絵で示していかないと、なかなか議論がしづらいかなあと思って聞いております。
ダイヤの調整ですとか、1 番最初の報告 1 で洞爺湖町のほうに持っていくという話になると、これは絶対、道南バスさんとの調整も出てくるでしょうし、ドライバーさんの休憩時間とかまで含めた検討になってくると思いますけども、結果的に負担が減るならば、やりやすい、やってもいいのかなとかそういうことになってくると思うんですよね。
そこら辺のそれぞれの空間的な階層性といいますか、交通ネットワーク、つなげるという言葉が出てましたけども、そこの部分を含めてですね、事務局のほうで、もう一度もんでいただければと思いました。

〇会長　貴重なご意見ありがとうございます。事務局のほうから何か。

〇事務局　ご意見ありがとうございます。
そうですね、洞爺駅を拠点とするというところは、将来的に豊浦町の人口が減ってしまって、今はある程度、豊浦駅が町内の拠点にはなっているんですけれども、そうすると、大岸や礼文華の方たちが 1 回豊浦駅まで来て、豊浦駅から洞爺駅まで行って、洞爺駅から乗換えというような段階を踏んでいる状況もございますので、今後そういったところで人口減少が加速していく見込みであれば、洞爺駅を本当に拠点としてしまうというところも視野に入れなければならないと考えております。
委員がおっしゃったように、これで公共交通に係る形の負担が減って、より効率的な運行が見込めるのであればというところも併せて検討していきたいと考えております。

〇会長　それでは、そのほか全体を通して何かお願いいたします。

〇委員　課題の抽出のところで、冬の運転の困難さっていうのが、あんまり出てこなかったんですけれども、豊浦町さんは、こちらの私は旭川にいますが、そこととちょっと違うかなと思いますので、もしあるのであれば、冬の乗降調査ですね、フィールドが夏と変わるということがもしありましたら、そういったこともおさえる必要があるのかなというふうに思っておりました。
あと、町民アンケートで、どのぐらいの時間帯に動いているかって

いうようなことが、本当はより把握しているとダイヤ調整もしやすいかなと感じました。
課題の整理と基本方針の部分なんですけれども、公共交通ですので、もちろん課題の解決というのが 1 番なんですけれども、少し前向きな話として、本来的にはそこに、町がある必要があって、そこに住む必要があって、町が出来て、それで移動を確保していくっていうことになってきますんで、先ほど委員がおっしゃった全体図ですね、交通の役割分担等の全体図とともに、その地区がどういう特性を持って、そこにつなげていかなきゃいけない、そういう前向きなお話もぜひ整理されると、地区の特徴については資料の中で整理をされていましたので、やはりつながるというような、この地区からつなげていくんだというようなところをこの中に含むと良いのかなあというふうに思っています。
その魅力的な拠点づくりと一体となった交通施策の方向性みたいなことが多少入ってくると、より前向きな公共交通計画になるのかなというふうに感じました。ちょっと抽象的ですけれども以上です。

〇会長　ありがとうございます。事務局からお願いします。

〇事務局　ありがとうございます。
そうですね、全体図というところでございますが、まだ我々も公共交通計画の中で、それぞれの地域に居住する町民が、どのような生活を送るためにこの公共交通を整理するといったような、そこに住まう方の生活に即した内容にはなっていないなと感じられるところでございますので、そういったところを意識して、まず全体図をしっかりと構築する必要があるのかなと。
もう一つですね、地区につなげるといったところで、前向きなというご意見がとてもありがたいと思います。
公共交通は、どうしても若干後ろ向きの施策といいますか、ある程度やらなきゃならないという義務感の部分が多く出るところではあるんですけれども、これによって住民満足度が上がる、または、豊浦町にもっと住んでもらいたいと思うことにつなげるといったような前向きな捉えで、計画や施策を考えていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

〇会長　そのほか、全体を通してご意見等はございますでしょうか。

〇ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　委員が言っていただいたのは確かにそのとおりで、将来的にはそう考える必要、整理する必要があると思うんですけれども、この計画は５年間なんですよ。
与えられているのが５年間の中で、しかも国の動きが今どんどん速くて、いろいろ次々要求も出てきます。

そうすると、毎年やっぱり見直しとかそういうふうになってくるんですね。
そうすると、さっき委員に言っていただいたのってもう本当に力強いなと思ったんですけれども、やっぱり今どうするかっていう部分をすぐやっていかないといけないと。
地域の方たちと私、意見交換に一緒に行かせてもらってですね、いろいろ話伺ってると、今困っておられる方がやっぱりいらっしゃる。
運転免許を持っておられない方を、豊浦町の人口でいきますと、18歳以下を除くと、道内の他のところと同じように見てみますと、多分150人ぐらいしかいないんですよね。
免許持ってない人、多分18歳以上ですと、５％ちょっとくらいなんですよ。
これ警察さんで調べればよく分かると思うんですけれども、大体、道内のこういう町に行きますと、10から５、特に５％に近いところぐらいの人たちが免許を持ってないと。
その人たちがどれぐらいいるかなあというと、子供たちの数、高校生以下を測ってみますと、やっぱり豊浦町の人口でいくと150人ぐらいなんですね。
必要な人っていうのか、高校生以下は動きやすく見えやすいですよね。
そうすると、その150人の中で福祉じゃないとどうしても動けない方たち、介護や何かの関係でね、こういう人たちを除くと100人ぐらいなんですね。
ですから、その人たちのことをまずセーフティーネットのような形で押さえてみるとどうなっていくかって言ったときには、さっき委員に言っていただいたようなことっていうのも、私は前向きに検討したほうがいいと思いますし、委員に言っていただいたような形の全体としてこの先どうするって、まちづくりと一体としてやっていかないといけないんで、豊浦町ってどういうまちにしていこうかと。
本当に生活圏ということで言ったときに、洞爺駅中心とした交通の体系を本当につくるのかということも、やっぱり真剣に考えないといけない。
その部分とやっぱりそれに合わせてそこに行くまでの間に、今何をやるべきかということを、今回の計画で盛り込んでいかないといけないんで、今ちょっと計画づくりをお手伝いさせていただいてますけれども、その辺、皆さん方の意見をいただきながら、いろいろ盛り込んで具体的に、もうすぐ動けるような体制をつくっていく必要があるだろうなと思っております。
どっちにしましても、簡単なことではないんで、また皆さん方に提示しながら、いろいろご意見いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
ありがとうございます。

○会長	そのほか何かご意見等ありますか。 （意見等なし） 本日は貴重なご意見ありがとうございました。 今後の協議会運営に活用させていただきたいと思います。 以上をもちまして、協議会は終了となりますけれども、次回の会議につきまして、事務局から連絡事項等はございますでしょうか。
○事務局	次回の会議では、計画素案をご提示いたしたいと考えております。 １月下旬に開催を予定しておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。
○会長	以上で令和６年度第２回豊浦町地域公共交通活性化協議会を終了といたします。 本日はありがとうございました。